

1945年6月

【第1弾】会期 2025年6月3日 Tue.～6月30日 Mon.

田辺聖子が
書いた

1945年8月

【第2弾】会期 2025年8月1日 Fri.～8月30日 Sat.

何事ぞ！
悲憤慷慨その極を知らず、痛恨の涙滂沱として流れ
肺腑はえぐらるるばかりである。
我等一億同胞胸に銘記すべき八月十四日。
嗚呼、遂に帝国は無条件降伏を宣言したのである。

（田辺聖子「十八歳の日の記録」昭和二十年八月十五日条
『文藝春秋』二〇二一年七月号）

六月一日の日、学校へ行って
第一時限の授業を受けていると
警戒警報がなりひびいた。
（『田辺聖子 十八歳の日の記録』昭和二十年六月二日条）

〈昭和の語り部〉とも呼ばれた田辺聖子(1928-2019)の樟蔭女子専門学校(現大阪樟蔭女子大学)在学時の日記『田辺聖子 十八歳の日の記録』(文藝春秋2021)が刊行され、終戦前後の貴重な資料として注目されています。この日記に刻まれた1945年6月1日の大阪大空襲と8月15日の終戦直後の動向を振り返り、1945年6月と8月に関連する田辺聖子の作品を、終戦から80年となる2025年6月と8月の二期に分けて展示します。

【写真】▲
「樟蔭学園 防護配備図」(樟蔭学園資料 1944～45年頃)
田辺聖子在学時(終戦前)の樟蔭学園構内の防護設備の配置を示した図。中庭や校庭周囲に吸上井や貯水(池)、防空壕が確認できる。
樟蔭学園に空襲の被害はなく、現在も1917年の創立時からの貴重な資料や建造物が遺されている。

【写真】▶
田辺聖子在学時の樟蔭女子専門学校校章
樟蔭の校章は菊水紋をかたどったものであったが、1941年5月8日から1947年頃まで桜水型の校章が使用されていた。



学芸員による
ギャラリートーク
(展示解説)

6月10日(火)
8月12日(火)
13:30～14:30
(受付開始 13:00)
＊予約不要

大阪樟蔭女子大学 田辺聖子文学館

所在地 〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26

大阪樟蔭女子大学 緑翠館1階

アクセス
・近鉄奈良線「河内小阪」駅下車 西へ徒歩4分(約300m)
・JRおおさか東線「JR河内永和」駅下車 東へ徒歩5分(約400m)

開館時間 9:00～16:30

休館日 日曜・祝日・大学の休業日

入館料 無料 *8月13日～17日は休館

URL <http://bungakukan.osaka-shoin.ac.jp>

E-mail bungakukan@osaka-shoin.ac.jp

FAX 06-6723-8387



HPトップページ

